



(実施概要)

地域リーダー等養成講座 ぎのわん地域づくり塾2024



令和7（2025）年3月

主催：宜野湾市／市教育委員会

協力：社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく



地域リーダー養成プログラム

宜野湾市では、地域に暮らす多様な人々が、何らかの活動やコミュニティに関わり、参加することで「このまちに住んで良かった」と思える「誇りと愛着の育まれるまちづくり」の実現を目指しています。そのためには、地域に多様な人々が集い、話し合うしかけをつくる「地域リーダー」や「地域コーディネーター」が必要です。

今年度は「宜野湾小学校区」をフィールドに、今ある活動とコミュニティを知り、新たな地域活動を行う知識やつながりをつくるため、第7期となる「ぎのわん地域づくり塾2024」を開催しました。本塾では、地域の活動を知る講座、スキルアップ講座、フィールドワーク、チームによる企画づくりを通じて、モデル地区（宜野湾小学校区）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域リーダーとなる人材を育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域リーダーの養成



地域の活動を知る

地域のステークホルダーが集う地域円卓会議や、校区内で活動する団体が活動発表や講座を行うことで、今、地域にある活動と困りごとを学びます。

企画づくり

塾生同士でチームに分かれ、地域を調べ、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

モデル地区を実際に歩くことで、地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるためのフィールドワークを行います。

スキルアップ講座

県内の地域づくり実践者が講師となり、地域の資源を活かすためのファシリテーションや企画づくりのスキルについて学びます。

7期塾生 14名修了（要件：4回以上の講座出席かつ企画づくりに参加）

宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の方を対象に、塾生の募集を行いました。

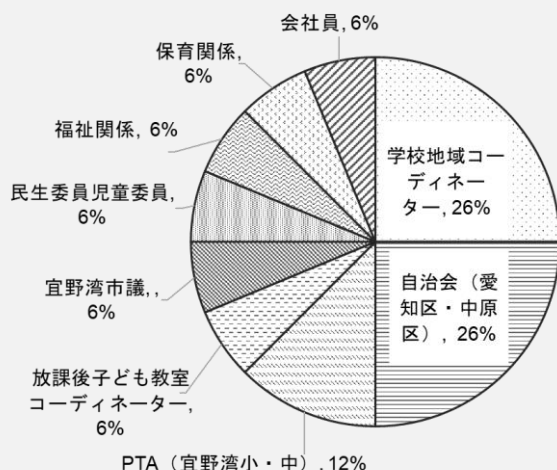
その結果、公開講座には28名の方々にご参加頂き、企画立案チームに所属した受講生は16名でした。



石川利恵子さん
学校地域
コーディネーター

夢の実現に向けて

塾のプログラムを通して、コミュニケーションの大切さ、話し合いの大切さ、情報収集のやり方など、多くの学びがありました。今後は、少しずつ子育て世代が増えている宜野湾校区で、公民館での子どもの居場所づくりやイベント等でお手伝いしながら、地域の子どもや大人達と関わりを持ち、必要とする人、必要とされる人たちをつながられる活動をしていきたいです。自分の描いている夢の実現に向けてかなりいい経験になりました。



第1～7期修了生 **150** 名



異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方達とチームで学び合います。



地域の現場（小学校区）で
学び、
地域へ提案する

地域の方々と話し合い、2ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク

塾生同士や地域の方達との関りだけでなく、修了生150名とのネットワークが広がります。

第7期のモデル地区（宜野湾小学校区）

宜野湾市の中央部、米軍普天間飛行場の東南に位置する住宅街で、中央を通る国道330号沿いには店舗や病院・小学校・市民公園などが並びます。人口は2,512世帯、11,817名（令和6年7月末）で、中原区、愛知区の2つの行政区に分かれています。戦前まではサトウキビ栽培を主とする農村地域で、闘牛が盛んに行われていました。宜野湾小学校は創立140年以上の歴史があり、児童数800名以上の大規模校です。地区内の2自治会の自治会加入率（令和5年度末）は、中原区29.23%、愛知区29.55%となっており、地区の公設公民館を自治会が管理・運営しています。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



新屋 心貴さん
宜野湾市
PTA連合会

地域を見て歩いて

普段よく通っている道でも、実際に歩いてみると見落としていたこともあり、知らなかった細道や、使われていない集会室を発見できました。地域を見て歩くことで多くの情報を得ることができました。チームメンバーにも恵まれ、あっという間でした。企画プレゼンを基礎から学ぶことができ、良かったです。



金城 信枝さん
愛知区自治会
会長

人と人が繋がることから

人と人が繋がることからスタートで、談話の場から始まると感じました。塾生の発想で色んな取り組みや活動が実行できそうです。やりたいことが先走り、軌道修正がありながら、楽しく企画の持ち方が学べました。

人が集まることの大切さ

自分の地域で参加でき、チームで活動できたことが良かったです。人が集まるということはすごく大切だと感じました。企画づくりでは、伝えたい相手に理解してもらい、伝わるというのは難しいことなのだと知りました。屋内だけでなく屋外に出て、チームで学び実際に歩き、見て、感じる。楽しく考えていくことができました♪



比嘉 裕美さん
中原区自治会
書記

地域で活動する原点、原動力に

子どもの育成に関わる企画をしており、助成金に応募する術を学びました。地域から参加することで、近くの方が塾生（仲間）となり、活動する原点、原動力になると思います。次年度の塾に知人、友人が参加できるよう勧めたいです。



濱元 盛正さん
愛知区自治会
教育隣組指導員

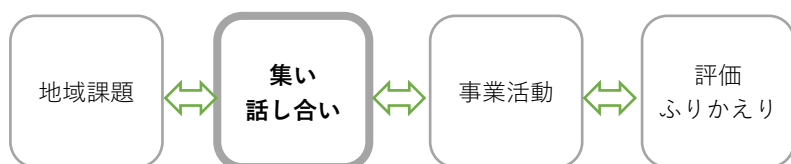
ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、公開講座、全8回の連続講座（ゼミ含む）を通して、宜野湾小学校区に今ある活動を知り、地域課題の仮説を立て、フィールドワークやスキルアップ講座を通して課題を探り、地域で人が集い、話し合う場を企画提案する過程から、地域リーダーとしてのスキルを学んでいきました。

地域リーダーの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
関係団体や住民と協力して活動することで
企画を立案し、地域コミュニティの
課題解決に向けた動きをつくりだす人材

協働による地域づくりの「プロセス」



今ある

地域の実践から学ぶ

参加者 塾生 14名

講師

大屋 正勝氏（中原区自治会 会長）

南 信乃介氏（那覇市繁多川公民館 館長）

公民館の運営を通して様々な取り組みを行っている大屋氏、南氏をお招きし、人が気軽に遊べる場（公民館）からどのような活動が生まれるのか、公立公民館と自治公民館の違いを踏まえ実践と場を作るヒントを学びました。



公開講座

日時 8月12日(月・祝)
9:30~12:30
会場 宜野湾市社会福祉センター

第1&2回講座

日時 9月18日(水)
19:00-21:30
会場 愛知区公民館

第3回講座

日時 9月21日(土)
10:00-15:00
会場 中原区公民館

第4回講座

日時 9月25日(水)
19:00-21:30
会場 宜野湾市役所多目的会議室

延期講座

日時 10月1日(火)
19:00-21:30
会場 宜野湾市社会福祉センター

誰でも使える公民館のあり方を考える 地域円卓会議

参加者 28名（自治会等地域組織、学生等）

着席者 10名（論点提供者、司会、記録者含む）

テーマ「宜野湾小学校区の今後の地域づくりのために、新しい人材と公民館がどうつながり、どう協働するのか」

宜野湾小学校区の公民館が、子どもから高齢者まで気軽に集い交流できる拠点となるにはどのようなことが必要なのか、様々な立場の着席者からの情報提供をもとに、参加者も含め議論しました。



公開講座

入塾式／ファシリテーションと地域調査

参加者 塾生 12名

講師 宮道 喜一

（NPO法人まちなか研究所
わくわく 事務局長）

地域の特徴について理解を深め、地域の困りごとを解決していくプロセスにおける、話し合いのスキルとして、ファシリテーション学びました。
※9/14は台風により延期



スキルアップ講座

企画づくり

参加者 塾生 14名

講師 平良 斗星氏

（公益財団法人
みらいファンド沖縄
副代表理事）

課題解決のための企画をつくるプロセスを学びました。チームで誰のどんな困りごとを解決したいのか話し合い、企画内容を掘り下げました。



地域活動を知る

宜野湾小学校区内活動発表 ～今ある地域活動と出会い知る～

参加者 塾生 11名
発表 5団体

宜野湾小学校区内で活動する5団体から活動して良かったことと課題について発表いただきました。その後、今ある活動を踏まえ、チームでフィールドワークの計画を立てました。



課題解決に向けた企画づくり

中間発表 ～企画のための1アクション～

参加者 塾生 12名

これまでチームで話し合ってきた企画内容と、企画を深めるための1アクションについて中間発表を行いました。塾生同士で意見を交わし、企画のブラッシュアップをしました。



チームで企画づくり

参加者 塾生 9名
アドバイザー 平良 斗星氏
(公益財団法人みらいファンド沖縄
副代表理事)

課題解決に向けた企画について、平良氏のアドバイスを受けながら、チームで議論を深めました。また、発表方法の検討を行い、最終発表の準備をしました。



第5回講座

日時 10月12日(土)
9:30-15:00
会場 中原区公民館

第6回講座

日時 10月17日(木)
19:00-21:30
会場 中原区公民館

ゼミ

日時 10月29日(火)
19:00-21:30
会場 中原区公民館

第7回講座

日時 11月2日(土)
10:00-16:00
会場 宜野湾市社会
福祉センター

塾生
個別相談
オンライン
実施

フィールドワーク ～地域の資源を歩いて知ろう～

参加者 塾生 14名

各チームでテーマに沿って歩くルートを決め、小学校区内のフィールドワークを行いました。得た情報をもとに、中間発表に向け、企画づくりと、よりよい企画をつくるための1アクションについて話し合いました。



フィールドワーク

最終発表・修了式

参加者 塾生 13名, 一般 11名,
事務局・主催 10名

連続講座で学んだ成果を、3チームが企画書をもとに企画提案を行いました。参加者から質問を受け、活発な意見が交わされました。その後、修了式にて修了証が授与され、全プログラムが修了となりました。



今後の活動に向けて

塾生個別相談

期間 2024年11月 / 回数 2回
事務局にて、助成金申請の相談を受け、サポートを行いました。



交流会

修了式後に、最終発表を見に来た方も参加し、交流会を行いました。



公民館のあり方から考える

公開講座「誰でも使える公民館のあり方を考える地域円卓会議」では、宜野湾市において重要な拠点である公民館について、ステークホルダー、地域住民と話し合うことで、公民館に様々な人が気軽に集い遊べる拠点となるための現状と課題を共有し、議論から見えてきたアプローチの方向性を提案しました。



1. 公民館が、いつも外に開いているということをアピールし続けることが大事。自治会加入者も未加入者もだれでも使いやすい公民館をつくり、関係人口を増やすことが、長期的にみて地域の活性化につながる。
2. 多くの方に公民館を活用してほしいと考えたとき、公民館や自治会を主語とするのではなく、これまで公民館を使っていない人、例えば子育て世代や中高生を主語において、彼らのやりたいことをどう聞き取るかが重要となる。
3. 公民館で行われる活動の利用者は固定化しやすい。公民館の旧来の利用者が、新たな人たちと出会う接点をつくることで、地域に意識を向け、活動の幅が広がるのではないかな。

誰でも 気軽に 遊べる場づくりのための企画提案

塾生が3チームに分かれ、公開講座と全8回の連続講座（ゼミ含む）を通して学んだことをもとに議論を重ね、「誰でも気軽に遊べる場」につながる企画提案を行いました。企画内容は、地域に暮らす多様な人々のなかで対象を決め、タイトル、目的（どのような企画を実施し、何を達成するのか）、背景（企画意図）、企画内容等を2枚以内の企画書にまとめました。最終発表では、モデル地区自治会をはじめ参加者にコメントをいただきました。



大屋 正勝さん
中原区自治会

どのチームも人のつながりを考えた企画でした。隣近所でも交流が希薄になるなかで、どのようにつながるか。これからも地域の皆さんに関心を持ってもらえるよう考えていきたいです。



仲村 章さん
宜野湾中学校区
民児協

共通するのは拠点づくりだと思います。中原区には公共施設が多くあり、行事や事業には学ぶ意識が高い人が集まります。学んだ方が、民生委員児童委員にもなってほしいと思いました。

企画提案①中原区の未就学児のママがリフレッシュできる場づくり ～ママたちの孤立感ゼロを目指して～

目的・背景

結婚や出産で市外から移住してきた子育てママが子育てに対する不安を気軽に解消できる場を増やすことで、孤立感をなくし子育ての楽しさや大切さを感じてもらうことを目的とする。

企画内容

中原区公民館で、月2回程度、ママが気軽に話ができるサロンや、託児を利用してリフレッシュできるイベントを企画。自治会のイベントの抱き合わせで広報周知し、子育てママのリフレッシュDAYや子育ておしゃべり会、ママのリフレッシュ講座などを実施する。

チーム：A5（エーファイブ）



今、地域にある活動から考える

第4回講座と延期講座「宜野湾小学校区内活動発表」では、今ある活動と出会い、活動の現状と課題を知るため、宜野湾小学校区で活動する2自治会と4団体に地域での取り組みについて発表いただきました。



大屋 正勝さん

中原区自治会

高齢者の見守りなどを行う地域支援活動委員会や、保護者と企画をつくり活動する子ども会の他、今年度から地域の課題や声を聞く場として「区民交流会」を行っています。

宜野湾中学校区

民生委員児童委員協議会

宜野湾中学校の前で朝の挨拶運動をして、子どもたちから元気をもらっています。独居高齢者や母子世帯を訪問し、自治会と必要な情報共有をし支援を行っています。



仲村 章さん



金城 信枝さん

愛知県自治会

愛知県の子どもたちを対象に、子どもエイサーや陶芸教室、夏休みのまつぼっくり教室を行っています。ミニデイサービスでは、地域のお年寄りが公民館に集まり、食事やミニゲームを楽しんでいます。

障がい者就労支援A型事業所

スマイリーワークズのわん

障がいのある方がサポートを受けながら働いています。地域の方からの依頼で自宅に出向き作業することで、障がい者の状況を知ってもらえる機会になっています。



瑞慶覧
多寿子さん

宜野湾小学校PTA

PTAは子どもたちの成長を応援し、楽しく地域家庭生活が過ごせるよう、PTA新聞の発行や学年行事の開催など、様々な取り組みを実施しています。その他、地域の環境整備も行っています。

さわやか会

宜野湾小学校とPTA、地域と連携し、児童、幼稚園児の交通安全を支援しながら、あいさつ運動を推進しています。活動をはじめて20年になり、活動の継続が課題です。



宮城 茂雄さん

企画提案②望まない孤立をふせぐ為の居場所づくり ～ココから広がる安心の輪～

目的・背景

話したくても話せない、頼りたくても頼れないといった「望まない孤立」を感じている人が「確実に信頼できる人にアクセスできる地域」つながる居場所づくりを目指す。地域や社会とのつながりが薄れてしまいがちななかで、地域住民が定期的に会話する機会をつくる。

企画内容

1. イベント名：地域住民との交流の場
2. 場所：愛知市営住宅集会所
(今は全く利用されていない)
3. 内容：愛知市営住宅、またその周辺の住宅へ何に興味があり、何に不安を感じているのかアンケートを取る。集計により活用内容を決め、交流の場を作り上げていく。

チーム：明日にかける橋



企画提案③異文化交流でつながるムラヤーづくり～あなたの国のことを教えてください。～

目的・背景

言葉の壁や文化の違いから生活上に困難を感じている外国人の方と地域住民が、地域の異文化交流を通して、住民同士が顔の見える機会をつくり信頼関係が築かれることで、災害時や緊急時といった「イザ」というときに避難や支援活動においてお互いをサポートし合える環境を整える。

企画内容

- 公民館（愛知県・中原区）を拠点
1. 活動協力を一緒に行うパートナーの募集
 2. 多国籍の方々との文化交流イベント開催
 3. 参加者同士の意見交換セッション
 4. 各国の文化や習慣についてのワークショップを開催
 5. 交流後のネットワークやコミュニティを設ける

チーム：ゆいまある



関係者からみた地域づくり塾

様々な人や組織の人材育成・発掘のために



塾長 宜野湾市

市長 佐喜眞淳

本市では、市の最上位計画である「第四次宜野湾市総合計画」の基本目標として「市民と行政が協働するまち」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。そのために当塾は、地域活動の「核」となる人材、組織の「つなぎ役」となる人材の育成・発掘を目的として開催しております。今期の課程を修了した皆さまにおかれましては、今後も引き続き卒業生とともに自主交流会や活動にご参加くださり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市教育委員会

教育長 仲村宗男

本市教育委員会では、学校を中心とした地域づくりを目的とした「地域学校協働活動推進事業」において、学校と地域をつなげる地域コーディネーターを配置しております。今回、当塾において、多くの地域コーディネーターの皆さまが修了されたことを、大変心強く思います。塾生の皆様の主体的な学びや、塾で培ったネットワークが本市の地域活性化につながっていくことを心より期待申し上げます。



NPO法人まちなか研究所わくわく

事務局長 宮道喜一

宜野湾小学校区を対象として、地域課題だけでなく、地域にある、または眠っている資源にも着目して、各チームは企画をつくり、提案されました。各地域の公民館が大切な資源であることを皆で再認識した2024プログラムでした。今期で本プログラムの修了生が150名となり、このネットワークを育てながら、各チームの企画を種として、修了後も地域の具体的なアクションにつなげていきましょう。



ぎのわん地域づくり塾2024 実施概要

宜野湾市 市民経済部 市民協働課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 2223)